

## 「福祉のこころ研究講演会」 報告

### 第 24 回 PSV (ピア・スーパービジョン) 報告

#### 1. 「福祉のこころ研究講演会」について

2019年10月5日(土)当日は計52名の参加者を迎えて行われました。中村磐男先生(聖学院大学 名誉教授)、牛津信忠先生(聖学院大学名誉教授・同大学総合研究所 心理福祉総合研究センター長)、柏木昭先生(聖学院大学名誉教授・同大学人間福祉スーパービジョンセンター顧問)によるシンポジウムが行われました。中村磐男先生は「公衆衛生における人間福祉」、牛津信忠先生は「今、人間福祉を考える」、柏木昭先生は「ソーシャルワークにおける「かかわり」とは何か」をテーマに語られました。3人の先生方ともにこれまでの経験を踏まえて、「福祉のこころ」に関する考え方や「キリスト教的人間福祉の援助実践」についてそれぞれ言及されました。各先生方による熱い想いがあふれ、大幅に時間を超えるシンポジウムとなりました。

#### 2. 第 24 回ピア スーパービジョンについて

講演会終了後、第24回ピア スーパービジョンが実施されました。参加者13名と少人数でのプログラムとなりましたが、日頃、現場で働いているなかで感じていることや各々の現場で抱えている個別の事例や課題を通じて、自由な雰囲気の中で意見交換が行われました。参加者はグループのいろいろな人の話や意見、アドバイスに耳を傾け、話し合うプロセスなかでお互いの抱えている悩みや問題点を振り返り、共有することのできる良い機会となりました。

今回のプログラム全体を通じて、参加者一同、自分自身の援助観を見つめ直すとともに、今後の各自の実践に向けて自らの“かかわり”について振り返ることができたのではないかと思います。

今回で第24回目を迎えたピア・スーパービジョンは、保健・医療・社会福祉現場や一般企業で対人援助の仕事をしている人たちが、日頃の実践に必要な“かかわり”について見つめ直し、お互いに知り合い、情報交換を行うための研修と交流のプログラムとなっており聖学院大学人間福祉スーパービジョンセンターと SWnet (聖学院ウェルフェアネット—卒業生を中心とする福祉のネットワーク) による企画運営の共催で行われています。これまで毎年、年に2回のペースで開催されてきました。次回、第25回のプログラムは2020年2月15(土)を予定しています。

[2019年12月24日(火)記]

山田裕太 (SWnet・人間福祉学科 卒業生)